

## コロナ禍における愛知県内市町村及び社会教育施設の取組状況調査結果

(令和3年10月 県生涯学習課より県内各市町村生涯学習・社会教育担当部局への調査)

### <調査趣旨>

コロナ禍における愛知県内の生涯学習・社会教育担当部局及び社会教育施設の取組状況を明らかにし、情報共有する。

### <調査内容及び結果>

#### 1 研修会等、及び社会教育施設のオンライン活用状況について

##### (1) 地域住民の社会教育施設でのインターネットへの接続について

	選 択 肢	市町村数・割合	
ア	ほとんどの施設（概ね7割以上）で、自由に接続可能なパソコンがある	1	1.9%
イ	半分程度の施設で、自由に接続可能なパソコンがある	1	1.9%
ウ	一部の施設（概ね3割以内）で、自由に接続可能なパソコンがある	8	15.1%
エ	自由に接続可能なパソコンがほとんどない	43	81.1%

##### (2) 社会教育施設でのWi-Fiの整備状況について

	選 択 肢	市町村数・割合	
ア	ほとんどの施設（概ね7割以上）で、接続可能となっている	6	11.3%
イ	半分程度の施設で、接続可能となっている	5	9.4%
ウ	一部の施設（概ね3割以内）で、接続可能となっている	16	30.2%
エ	自由に接続可能なWi-Fi環境がほとんどない	26	49.1%

##### (3) 社会教育施設でのオンラインを使った講座の開設の実現可能性について

	選 択 肢	市町村数・割合	
ア	ほとんどの施設（概ね7割以上）で、実施可能となっている	6	11.3%
イ	半分程度の施設で、実施可能となっている	2	3.8%
ウ	一部の施設（概ね3割以内）で、実施可能となっている	19	35.8%
エ	自由に接続可能なインターネットやWi-Fi環境がないためほとんど実施できない	26	49.1%

##### (4) 主催者や参加者がオンラインによる講座や会議等を行うにあたっての人的支援の充実度について

	選 択 肢	市町村数・割合	
ア	ほとんどの施設（概ね7割以上）で、必要に応じて支援できる職員がいる	0	0.0%
イ	半分程度の施設で、必要に応じて支援できる職員がいる	2	3.8%
ウ	一部の施設（概ね3割以内）で、必要に応じて支援できる職員がいる	12	22.6%
エ	ほとんどの施設で支援できる職員がいない	26	49.1%
オ	そもそもオンライン環境がないため、オンライン等を行っていない	13	24.5%

## 2 コロナ禍における担当部局及び社会教育施設での取組について

### (1) ZoomやMicrosoft Teams、Cisco Webex Meetings 等などのWeb会議システムや、LINEをはじめとするSNSの活用方法についての講座の開催状況について

	選 択 肢	市町村数・割合	
ア	ほとんどの施設（概ね7割以上）で、何らかの講座等を実施した（実施している）	2	3.8%
イ	半分程度の施設で、何らかの講座等を実施した（実施している）	4	7.5%
ウ	あまりそうした講座・取組等は行っていない（概ね3割以下）	47	88.7%

### (2) コロナ禍を意識した対面での講座や施設内の取組等について（例 健康体操、手作りマスクづくり、つながり掲示板、など）

	選 択 肢	市町村数・割合	
ア	ほとんどの施設（概ね7割以上）で、何らかの講座等を実施した（実施している）	10	18.9%
イ	半分程度の施設で、何らかの講座等を実施した（実施している）	10	18.9%
ウ	あまりそうした講座・取組等は行っていない（概ね3割以下）	33	62.3%

### (3) コロナ禍を意識したオンラインでの講座や施設内の取組等について（例 オンライン文化祭、オンライン健康体操、オンライン読み聞かせ、など）

	選 択 肢	市町村数・割合	
ア	ほとんどの施設（概ね7割以上）で、何らかの講座等を実施した（実施している）	0	0.0%
イ	半分程度の施設で、何らかの講座等を実施した（実施している）	9	17.0%
ウ	あまりそうした講座・取組等は行っていない（概ね3割以下）	44	83.0%

#### <調査から読み取れること>

コロナ禍において、社会全体としてオンライン（Web会議システム等）による会議や研修会等が急速に発達したものの、その末端にある社会教育施設及びそれに携わる人的環境において、次の点を課題（問題点）としてあげることができる。

- 地域住民へのオンラインを活用した新たなつながりを生み出すための整備が不足している。
  - 社会教育施設担当者（講座等担当者、行政担当者）のオンライン運営に対する知識や理解の不足（質問1(1)・2(2)(3)）
  - 社会教育施設担当者がオンライン運営をしようと思った場合の環境面の未整備（質問1(3)）
  - 社会教育担当者の意識（例 オンラインを活用した地域住民の新たな絆作り）の温度差（質問2(1)(3)）

- 反面、従来の対面での取組を継続しようとする動きがある。（質問2(2)）

#### (4) コロナ禍を意識したオンラインでの講座や取組についての各市町村での取組事例

(回答できる市町村のみ：市町村名は省略)

1	<ul style="list-style-type: none"><li>・オンライン講座を実施</li><li>・YouTube を活用した講演会の同時配信</li></ul>
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・高校生ビブリオバトル（イベントの様子を YouTube にてオンライン配信）</li><li>・エディター養成講座（コロナの影響で県外から来る予定だった講師がオンラインにて参加）</li></ul>
3	<ul style="list-style-type: none"><li>・生涯学習人材育成を目的としたオンライン講座対応のための Zoom 初心者講座</li><li>・Zoom を活用した英会話教室を実施予定</li></ul>
4	<ul style="list-style-type: none"><li>・犬山市民総合大学敬道館入学式のオンライン配信（普段は受講生が集まって実施している入学式と記念講演をオンラインで実施）</li><li>・子ども読書空間整備記念講演会（会場開催だけの予定であったが、会場に加えてオンラインでも配信を実施）</li></ul>
5	<ul style="list-style-type: none"><li>・市 PTA 連絡協議会役員会を Zoom で実施</li><li>・図書館でおはなし動画配信</li><li>・オンライン発明クラブの実施</li></ul>
6	<ul style="list-style-type: none"><li>・おおむね 60 歳以上の方を対象に「いきいきシルバースクール」を実施<ul style="list-style-type: none"><li>・「いきいきシルバースクール」の参加者は、学校で午前から午後にかけて講座を受講し、お昼に給食を食べるのが主な内容。</li><li>・今年度は、コロナの影響で、学校が使えないため、オンラインにて実施。初回にタブレット教室を実施して、オンラインに慣れてもらった。</li><li>・今後、オンラインの講座や体験を企画する予定。</li></ul></li></ul>
7	<ul style="list-style-type: none"><li>・生涯学習講座について、会場での受講と Zoom によるオンラインでの受講ができるようにした。</li></ul>
8	<ul style="list-style-type: none"><li>・オンラインアートスクール講座（普段は会場参加のアートスクール講座（バレエ・戯曲セミナー）をオンラインで実施）</li></ul>
9	<ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォン講座（今後のオンライン形式による開催の普及を目的に、講師によるネット環境のもと、「Zoom」の操作についての講座を実施）</li></ul>
10	<ul style="list-style-type: none"><li>・オンライン生涯学習講座（普段は対面で行う生涯学習講座をオンラインでも行う）</li></ul>
11	<ul style="list-style-type: none"><li>・オンライン公民館芸能祭（地元ケーブル TV 局と連携し、団体の発表を収録・放送）</li><li>・オンライン県社連東尾張支部総会・講演会（Zoom を用いて関係市町を繋ぎ開催）</li><li>・オンライン生涯学習研究集会（Zoom を用いて参加者自宅、主会場、サテライト会場を繋いで生涯学習の諸課題についての会議を開催）</li></ul>
12	<ul style="list-style-type: none"><li>・オンライン版出前講座配信（行政内容等を説明する出前講座を、自宅等でも学ぶことができるよう、撮影・編集し、YouTube で配信）</li><li>・オンラインでの講座開催（新しい生活様式のもとで活躍できる人材の育成をテーマに Zoom による講座を全 5 回開催した）</li></ul>

13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインで元気っス！（毎年夏に開催している市を挙げての踊りの祭典「元気っス！」を、昨年度はオンラインで開催）</li> <li>・各グループ及び碧南市のマスコットキャラクターの踊りをインターネットで配信した。</li> </ul>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安城ヴォーカルフェスティバル YouTube でLIVE 配信</li> <li>・おうちでできる生涯学習（公民館職員で動画を作成し、YouTube で配信）</li> <li>・市民企画講座 Zoom を使用したオンライン講座を企画・実施中</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人全国公立文化施設協会のパイロット動画配信事業に2つの公演を登録し、リモート鑑賞の普及に努めた。</li> <li>・YouTube にチャンネル登録し、定期的な事業紹介</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学で実施している市民向け講座を、地区市民館1館をサテライト会場としてオンライン配信</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習センター文化祭における芸能発表部門について、事前収録した内容をYouTube 配信及び文化祭当日のビデオ放映を実施</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災訓練の代わりに、オンラインで防災講座を開催</li> <li>・オンライン講演会（コロナ前は会場参加で行っていたが、YouTube 生配信で実施した）</li> <li>・オンラインワークショップ（子供向けワークショップもコロナ前は会場参加で行っていたが、Zoom で実施した）</li> <li>・市公式YouTube に懐かしい風景画像をまとめた動画を掲載</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン中学校文化祭（YouTube を使い、オンラインで文化祭を配信）</li> </ul>